

皆さま、こんにちは。
 アールラーニングの吉政と申します。

7月18日からRails3技術者認定試験が開始されました。この試験はRailsの日本第一人者の松田明氏、masuidriveこと増井雄一郎氏及び弊社小澤が作成いたしました。数回のベータ試験を経て、かなり問題の品質を向上させる事ができました。今回開始した試験はブロンズ試験です。学生から社会人2年目までのプログラマーを対象とした試験であり、基礎的な部分を中心に出题しています。(とはいってもかなり実践的なはずです)

これからRailsを始める方には、ちょうどよい試験だと思いますので、是非、修得度チェックにご利用ください。
 (試験料金も1万円とCBT試験にしては頑張りました!)

それでは今号も宜しくお願いいたします!

/// INDEX //

[News & Topics]

- ・ 学生及び社会人プログラマー1-2年目を対象とした Rails3技術者認定ブロンズ試験の発表
- ・ Rails3技術者認定ブロンズ試験 模擬問題の公開
- ・ モバイル・アプリケーション開発プラットフォームAppcelerator Titaniumの開発者向けトレーニングをグローバルナレッジが弊社と共催で提供予定

[Rails Hubホットトピック]

- 【技術コラム】 第4回 ActiveRecordの更新系操作
- 【情報局】 Rails 3.1は8月22日にリリースへ

[コラム]

- 【masuidriveコラム】
「RubyKaigi」

【技術コラム】

- ・ Google App Engine ~ TaskQueue
- ・ androidタブレット比較その2
- ・ androidタブレット比較
- ・ [Piece of RoR]DRYなコードを書くために・・・
- ・ ガラケーFlashコンテンツをAndroidへ載せ替える『ガラっと!』リリース!!

【UGUISUコラム】

- ・ 勤怠管理システム「新月」お陰さまで出だし好調です。
- ・ DIS Android Tour2011に出展しました

//// News & Topics //////////////////////////////////////

- ◆ 学生及び社会人プログラマー1-2年目を対象とした Rails3技術者認定ブロンズ試験の発表
 原文⇒<http://www.r-learning.co.jp/news/2011071301/>
 【解説】

いよいよRailsの技術者認定試験が開始しました。現在、急速に普及しているRubyですが、そのフレームワークに使用されているのはRuby on Railsがほとんどです。そこで弊社としてはRuby技術者認定試験を推奨するとともに、

Rails3技術者認定試験を@IT様と共同で開始することとしました。ブロンズ試験は学生及び社会人プログラマー1-2年目を対象としていますので、来年の新人研修の修得度チェックにご利用ください。

◆ Rails3技術者認定ブロンズ試験 模擬問題の公開

⇒ http://jibun.atmarkit.co.jp/scenter/ittrain/123_today_q.html

今後の情報配信は以下の公式Twitterでも行っています。
まだFollowされていない方は是非、ご利用ください。

<http://twitter.com/railscp/>

◆ モバイル・アプリケーション開発プラットフォームAppcelerator Titaniumの開発者向けトレーニングをグローバルナレッジが弊社と共催で提供予定
原文⇒ http://www.r-learning.co.jp/news/titanium_mobile_training/

【解説】

AndroidとiPhoneの両方のアプリケーションをHTMLやJavaScriptで開発する開発ツールがいよいよ日本市場で展開を始めます。今回の発表は教育体制を強化するべく、世界トップクラスのグローバルナレッジと弊社の提携により実現した日本語Titaniumトレーニングです。しっかり学びたい方は是非ご利用ください。

//// Rails Hubホットピック //////////////////////////////////////

◆ 【技術コラム】第4回 ActiveRecordの更新系操作

⇒ <http://bit.ly/otV0JS>

◆ 【情報局】 Rails 3.1は8月22日にリリースへ

⇒ <http://el.jibun.atmarkit.co.jp/rails/2011/07/rails-31822-330d.html>

//// コラム //////////////////////////////////////

◆ 【masuidrive コラム】「RubyKaigi」

+.....+
7月16日からの三連休、Androidの会が主催するAndroid Bazaar and Conference 2011 Summer (通称ABC 2011S)など、全国で大きなIT系イベントがいくつか開催されました。

私はこの三連休は、RubyKaigiというRubyに関する国内最大のカンファレンスに参加していました。RubyKaigiは2006年から開催され、今回は6回目ですが、カンファレンスの一つの大きな区切りとして、「最後のRubyKaigi」として開催されました。これは、カンファレンスが非常に大きくなり、コミュニティとして運営が難しくなってきたことが、大きな要因の様です。カンファレンスを主催している、日本Rubyの会は、今年中に法人化する予定となっているので、近いうちに、新しいRubyに関するカンファレンスが企画されるのでは無いかと思います。

今回のRubyKaigiは震災後にもかかわらず、海外からも多くの方が参加していたようで、会場では日本語に混じって、あちらこちらで英語での会話が聞かれました。初日の一番初めのKeynoteセッションも、シアトルから来たAaron Pattersonさんによる英語での講演でした。スクリーン上でテキストにほぼ同時通訳がボランティアの方々によって行われ、英語の苦手な方でも、十分楽しめるよう配慮されていました。逆に日本語による講演も、ボランティアによって同じように通訳が行われ色々な国、言語の人が同じ講演を楽しめるという事において素晴らしいカンファレンスだったとおもいます。

このカンファレンスの直前には、Rubyの作者であるMatzさんが、米Heroku社のチーフアーキテクトとして入社し、他にも著名なRubyコミッタであるNobuさんも同時に入社したと発表されました。Heroku社は、2007年に設立された、Rubyを中心としたクラウドプラットフォームを提供しているサンフランシスコを拠点とした会社です。Heroku社はコミュニティが作ってきたRubyを中心とした業務を行っている為、コミュニティへのお返しとして、Matzやその他の

r1011

コミッターと呼ばれる主たる開発者を数名、雇用することにしたとの事でした。雇用と言っても一般的な社員とは違い、いままでの様にRubyの開発を続けて貰い、その間の生活保障といういう意味合いが強く、Heroku社から管理や指示をされることはないそうです。

日本で生まれたRubyが、Web業界の世界的中心となるシリコンバレーで認められ、開発者が支援されることは大変喜ばしいことだと思います。しかし、このような会社が日本から出なかった事もちょっと寂しい思いがしてしまいました。

(masuidriveこと増井 雄一郎)

◆【技術コラム】Google App Engine関連のテクニカルブログ

+.....+

- ・ Google App Engine ~ TaskQueue
- ・ androidタブレット比較その2
- ・ androidタブレット比較
- ・ [Piece of RoR]DRYなコードを書くために・・・
- ・ ガラケーFlashコンテンツをAndroidへ載せ替える『ガラっと！』リリース！！

詳細は><http://blog.r-learning.co.jp/>

◆【UGUISUコラム】マーケティングブログ関連のブログ

+.....+

- ・ 勤怠管理システム「新月」お陰さまで出だし好調です。
- ・ DIS Android Tour2011に出展しました

詳細は><http://www.uguisu.biz/column/>

編 | 集 | 後 | 記 |

今号でご紹介したコラムは10本でした。なかなかコラム率が多いメルマガになりました。中でもご注目技術ブログです。よく会社からの指示で技術ブログを開始したはいいけど更新が無い！というのが多いですが、弊社の技術ブログは一味違います。内容もしっかり書いているので、是非定期的にのぞきに来てください。そしていいな！と思ったら是非Tweetしてください。宜しくお願いいたします！（吉政）

—◇読者の皆様へ◇—

本メールマガジンは情報共有の推進を目的としております。宜しければ、社内の他の方が閲覧できる社内掲示板や関係各所へのご転送をお願いいたします。

—◇本メールマガジンの登録解除方法◇—

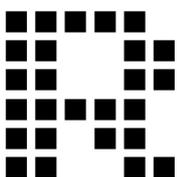
このメールに対する登録解除は★そのまま返信★でその旨をお伝えください。

本メールマガジンの送付先追加と送付先変更方法

このメールマガジンに★そのまま返信★で下記の項目をCut & Pasteして項目を埋め、返信して下さい。

変更の場合、旧送付先：

- (1) メールアドレス：
- (2) 氏名：
- (3) 会社名：
- (4) 部署名：
- (5) 役職名：



アールラーニング・メールマガジン「R-Times」

発行人：株式会社アールラーニング
 取締役兼サービス戦略室長 金子 憲太郎
 編集人：マーケティングアドバイザー 吉政 忠志
 Mail：r-times@r-learning.co.jp

